

各課意見に対する対応の方針

該当ページ	該当箇所		ご意見内容	対応の方針
	見出し	段落・行		
全般	-	-	汚水中継ポンプ場は、「7箇所」と書かれている箇所と「6箇所」と書かれている箇所がある。「6箇所」との記載は小町ポンプ場が休止中のためと思われるが、説明が必要では無いか。	小町中継ポンプ場については休止中の旨、記載を追加します。
			整備率について、数値を統一してはどうか。	対応いたします。
			文中の「調整池」については「雨水調整池」としてはどうか。	対応いたします。
			雨水管渠費は公共下水道か。ポンプ施設の無い雨水調整池は含むか。企業会計で賄う事業の範囲が不明確。	雨水管渠費は公共下水道です。ポンプ施設の無い雨水調整池は含みません。
			経費回収率の向上に向けたロードマップについて、国土交通省「下水道事業における収支構造適正化に向けた取組の推進について」（令和2年7月21日付け国水下企第34号）を踏まえ、経費回収率の向上に向けた業績目標を進捗管理に追加して記載すべき。	対応いたします。
			政策創造課では、現在、スマートシティ構想策定に着手し、令和3年（2021年）8月を目途に策定を予定しています。また、令和3年（2021年）4月にはスマートシティ庁内検討委員会防災インフラ部会が立ち上がる予定であり、今後、スマートシティという新たな視点で都市インフラの在り方を検討する必要があることをご承知おきください。 現時点で計画へ反映させていただきたいものではありませんが、環境的、技術的に変化が激しい時代において、今後、加味していただく可能性があるものを列挙いたしますので、参考にしてください。 ・データ連携基盤「都市OS」導入 ・効率的な都市整備のための「Dig Once Policy」の導入 ・センシング、自己修復インフラなどの技術進展	今後の検討の参考にいたします。
P1	はじめに	-	鎌倉市の位置や地形が視覚的に分かりやすいような図を挿入してはどうか。	対応いたします。
		5段落3-4行目	～対策を進めておかないと→～対策を進めておかなければ	対応いたします。
P2	はじめに (2ページ目)	2段落1行目	残るなか⇒残る中	対応いたします。
P3	1(1)①	2-3行目	人口、財政規模は「約」を入れるべき。	対応いたします。
		-	市の土地利用が分かりやすいような図を挿入してはどうか。	対応いたします。
P4	1(1)③	1段落1-3行目	人口、財政規模は「約」を入れるべき。	対応いたします。
		2段落1行目	「最少の経費で最大の効果を挙げられるよう、」は削除した方が良い。	対応いたします。

該当ページ	該当箇所		ご意見内容	対応の方針
	見出し	段落・行		
P5	【コラム】	3段落1行目	「普通交付税の算定には様々な費用が用いられ、」では算定するために色々な費用を払ってるかのように誤解されるため「・・・税は道路延長など様々な項目によって算定され、」にする。	対応いたします。
		3段落1-6行目	交付団体の場合、下水道事業における市債の償還について交付税を財源とすることができますが、本市は不交付団体であるために全額を市費で賄わなければなりません。 (理由：歳入・歳出・市債等の単語が突然使われており、知らない人からはわかり難いのではないかと。歳入歳出の話は不交付団体の説明では蛇足的に見えるのでカットした方がよい)	鎌倉市下水道事業運営審議会の中で市民委員から「鎌倉市が不交付団体であることと下水道事業会計との関連について明記すべき」との意見を受けて該当項目を記載しているため、ご指摘の箇所についての修正は行いません。なお、専門用語が分かりにくいのではないかと、というご指摘については、各ページの下部に注釈を加えることで対応いたします。
P7	1(3)①	2段落1行目	「平成31年度」→「令和元年度」	「平成31年(2019年)4月」と改めます。
P8	1(3)②	2行目	「中継ポンプ場は」→「中継ポンプ場等の公共下水道施設は」	対応いたします。
		表1-2	489km→490km 239km→240km としてはどうか。	「鎌倉市社会基盤施設白書 平成30年度版」における記載に合わせています。
P9	1(3)②	図1-5	図中の「〇〇ポンプ場」→「〇〇中継ポンプ場」 ※他の箇所も同様に統一する。	対応いたします。
P12	1(4)①	表1-6	「30年前」、「10年前」、「現在」の表記は追加してはどうか。	対応いたします。
		表1-6	他の表は右詰めになっているので揃えたほうがよいと思います。	対応いたします。
P13	1(4)②	1行目	～はじめとして、のあとの1字空欄は詰めたほうがよいと思います。	対応いたします。
P14		3段落1行目 (P14の1段落1行目)	～仕様規定による発注 のあとの1字空欄は詰めたほうがよいと思います。	対応いたします。
		3段落1行目 (P14の1段落4行目)	～重複作業の効率 のあとの1字空欄は詰めたほうがよいと思います。	対応いたします。
		表1-7	契約期間のスペースが上下で異なるので揃えたほうがよいと思います。	対応いたします。
	1(5)①	1段落1行目	「企業債、下水道使用料、一般会計」については財源の多い順で並べた方がよいのではないかと。	対応いたします。
		2段落目	「企業債」、「下水道使用料」、「一般会計」の説明文を財源の多い順で並べた方がよいのではないかと。	対応いたします。
		2段落4行目	一般会計繰入金の説明で「市の一般会計に負担をお願いしている」とあるが、雨水は公費負担が原則のため、繰入金の全てが「負担をお願いしている」わけではない。	対応いたします。

該当ページ	該当箇所		ご意見内容	対応の方針
	見出し	段落・行		
P15	1(5)①	Iの表題	「I収益的収支予算(3条予算)」については「3条予算」の説明が必要ではないか。	「3条予算」は予算書様式の条番号による通称です。検討の結果不要と判断し削除します。
P16		IIの表題	「I資本的収支予算(4条予算)」については「4条予算」の説明が必要ではないか。	「4条予算」は予算書様式の条番号による通称です。検討の結果不要と判断し削除します。
	1(5)②	-	「1(5)②あるべき姿」と「1(5)③現状」を順番を入換えてはどうか。	対応いたします。
P17	1(5)③	4段落1行目	「普及はほぼ終わっていますが」とあるが、「整備」が概ね終わっているのではないかと	対応いたします。
		4段落2行目	緩か→緩やか	対応いたします。
P21-P22		表1-8	和暦のほうがよいと思います。	対応いたします。
P21		表1-8 「下水道事業費」欄	30年前と現在の「整備費」の計が合っていません。	30年前 管きょを 26.7→26.8億円 に修正 現在 整備費を6.4→6.3億円 に修正
P22		表1-8	「調整池」→「雨水調整池」 「処理場」→「下水道終末処理場」※P8表1-2の表記に合わせる。	対応いたします。
	1(6)	①の表題	「①類似都市との比較分析」→「①経営比較分析表からみる課題」	対応いたします。
P23	1(6)①	「管きょ改善率」の 説明文2行目	文中の順序を入れ替え、「投資を大きく抑制したため、・・・必要な補修更新が実施されていません」とした方がよい。	対応いたします。
		1行目	「下水道事業運営審議会からは」→「鎌倉市下水道事業運営審議会(以下「下水道審議会」という。)からは」	対応いたします。
P24		4段落3行目 (P24の3段落3行目)	文末「・・・に接続しています。」を「・・・に接続していますが、引続き未接続家屋の解消に努めます。」または「・・・普及に努めます。」などとしてはどうか。	「・・・に接続していますが、引続き未接続家屋の解消に努めます」とします。
	1(6)③	2行目	「鎌倉市都市マスタープラン」→「鎌倉市都市マスタープラン(平成27年(2015年))」	対応いたします。
P25		図1-9	1965年、2020年がどこからどこまでなのかが分からないのではないのでしょうか。	図を修正します。
P26	-	-	「柵」について、「柵」と「ます」の表記が混在している。	「柵」に統一します。
	1(6)④I)	3段落1行目 (P26の1段落1行目)	「一定の点検・補修を定期的に行っていますが」 →「定期的に点検・補修等を行っていますが。」	対応いたします。
		5段落5行目 (P26の3段落5行目)	「破損・閉塞の原因となっており、加えて・・・」 →「破損・閉塞の原因となり、加えて・・・」	対応いたします。
		8段落9行目 (P26の6段落9行目)	「ポンプ場・処理場の負担・コスト増を招いています。」について、どの程度のコスト増なのか。どの程度か説明できなければ、表現を見直してはどうか。	増加コストは把握できていないため、文章を見直します。

該当ページ	該当箇所		ご意見内容	対応の方針
	見出し	段落・行		
P27	1(6)④Ⅱ)	2段落1行目	鎌倉処理区が津波で→鎌倉処理区の一部が津波で	対応いたします。
		2段落3行目	「約17,000世帯の汚水処理が長期間できなくなるなど、」 →「約17,000世帯の汚水が長期間処理できなくなるなど、」	対応いたします。
		3段落1行目	地震津波にも影響を受けにくい→地震の影響を受けにくい	持続型下水道幹線は地震津波の影響を受けにくいことから、従前の表記としています。
	1(6)④Ⅲ)	2段落3行目	「進捗率は伸び悩んでいます。」→「整備の進捗が伸び悩んでいます。」	対応いたします。
		4段落1行目	「位置付ける前に整備された施設が、いつ整備されたのか不明な施設が多く」の「施設」とは雨水調整池のことか。	当該部分は削除し、表現を見直しました。
P28	1(6)④Ⅳ)	6段落3-4行目 (P28の5段落 3-4行目)	状況にあります、→状況にあり、	対応いたします。
P29	2(1)	3行目	「少子高齢化の一層進行で」→「少子高齢化の一層な進行で」	「少子高齢社会の一層の進展で」と修正します。
	2(2)	1行目	西暦併記をした方がよいと思います。	「平成30年7月豪雨」、「令和元年東日本台風(台風19号)」及び「令和2年7月豪雨」は、豪雨・台風の固有名称であるため、和暦のみ記載しています。
P31	【コラム】	2段落1行目	「国道の地盤沈下などに伴い」については、「稲村ガ崎の崖の一部が崩落」というような言い回しにした方がよい。	対応いたします。
		3段落1-2行目	「海への汚水の放流量は、約1カ月間で約36万m3…」の文については、その後の文に「復旧するまでには、約2年6カ月間、…を要し」との記載があるため、36万m3×30カ月分の汚水が流出したと受け取られかねない。	対応いたします。
P32	3	「下水道施設の脆弱性の解消」 1行目	「津波時に破損する中継ポンプ場をなくし」→「津波時に破損する可能性がある既設の中継ポンプ場をなくし」 ※持続型下水道幹線の整備により中継ポンプ場を新設したうえで、既設のものを廃止するため、すべてなくなるわけではない。	対応いたします。
P33	4(2)①	「中期目標」欄 1行目	「処理場・ポンプ場は設備補修・更新を行いつつ」とあるが既設ポンプ場はなくなるのではないか。	「・ポンプ場」を削除します。
		「中期目標」欄 3行目	「持続型下水道幹線計画について、新ポンプ場から着工します」とあるが、「管きよ」から着工するのではないか。	新ポンプ場から着工します。
		「中期目標」欄	既設ポンプ場をなくすのに時間がかかるようであれば、既設ポンプ場の改築料を見込む必要があるのではないか。	計画では、約15年で持続型下水道幹線に切替えるため、改築は不要と考えています。

該当ページ	該当箇所		ご意見内容	対応の方針
	見出し	段落・行		
P34	4(2)	②の表題	2021～2030年→2021～2030年度	対応いたします。
	4(2)②	「持続型下水道幹線再整備事業」欄	新七里ガ浜ポンプ場整備工事 令和10年～ →新七里ガ浜ポンプ場整備工事 令和10年度	新七里ガ浜ポンプ場整備工事は、令和10年度から始め令和12年度以降も継続する工事のため「令和10年～」と記載していましたが、表現を見直し「令和10年度（2028年度）～以降継続」と修正します。 ※同表内のほかの工事も同様の記載に変更します。
	4(2)②	「持続型下水道幹線再整備事業」欄	投資額が約29億円とあるが、少なくないか。	計画期間内の合計金額です。
	4(2)②	「持続型下水道幹線再整備事業」欄	新七里ガ浜ポンプ場整備工事は令和10年～とあるが、ここまで整備が遅れると、既設の中継ポンプ場について再整備（改築）が必要となるので、耐震を含め投資計画を見込むべきではないか。	計画では、約15年で持続型幹線に切替えるため、改築は不要と考えています。
P35	4(2)③	「持続型下水道幹線」 2段落1行目	「先の稲村ガ崎の事故は地盤沈下が原因でしたが」の部分は不要ではないか。	対応いたします。
	4(2)③	「持続型下水道幹線」 3段落2行目	「具体化を検討しています。」とあるが、検討の段階は終わっていないのか。「具体化する」のではないか。	対応いたします。
	4(2)③	「持続型下水道幹線」 4段落5行目	「廃止したポンプ場の維持管理や更新が不要となります。」とあるが、これを経営戦略の中期事業にすべきではないか。	ポンプ場の廃止等は、持続型下水道幹線の整備が終わる約15年先となることから、中期事業にはあたりません。
	4(2)③	「処理区の統合」 1段落目	「七里ガ浜と山崎の2つの下水道終末処理場を新たな污水管きよで繋ぎます」では、処理場の一元化の説明になっていない。	対応いたします。
P36	4(2)④	1段落2行目	令和5年度（2023年）→令和5年度（2023年度）	対応いたします。
	4(2)④	2段落3行目	齟齬が生じないように検討を行う予定です→検討します。 また、「齟齬」は別の語に言い換えた方がよい。	対応いたします。
P38	4(2)⑤	1段落目	文章が分かりにくいいため、「汚水を浄化するためには設備投資以外にも日々の維持管理に多額の経費が必要になっています」などとしてはどうか。	「汚水を浄化するためには、処理施設とその機能を維持するための投資が必要であり、日々の運転管理に必要な労力・エネルギー等も小さくありません。」と改めます。
	4(2)⑤	2段落1行目	文章が分かりにくいいため、「エネルギーや環境にも配慮した汚水処理」はなどとしてはどうか。	「エネルギーや環境にも配慮した施設」と改めます。
	4(4)①	「中期目標」欄 3行目	～収支均衡をめざします→目指します 5行目と合わせたほうがよいと思います。	対応いたします。
P39	4(4)③	4行目	令和元年度（2019年）→令和元年度（2019年度）	対応いたします。
	4(4)③	Ⅲ）2行目	令和10年度（2028年）→令和10年度（2028年度）	対応いたします。

該当ページ	該当箇所		ご意見内容	対応の方針
	見出し	段落・行		
P40	4(4)③IV)	1-3段落目	なぜ総務省が示す150円/m ³ よりも本市料金が高くなるのか、十分な説明が必要と思われる。また、早く既設の中継ポンプ場をなくし、処理場を一元化すべきと思われる。	使用料単価を150円/m ³ 以上にするのは、処理経費が他市と比べ高いことが要因の一つですが、そういったことも含めて大幅な財源不足を解消するため、使用料の改定が必要になることを「4(4)③下水道使用料」(P39)の2段落目2行目に記載しています。 また、一元化については「4(2)③今後の戦略的事業」(P36)に記載しています。
P41	4(4)	④の表題	「④繰入」は、「④一般会計からの繰入」としてはどうか。	「④繰入金」と改めます。
P49	5	-	ロードマップのようなもので視覚的に分かりやすい表記を追加したほうがよいのでは。	表題の修正を含め、対応いたします。

※このほか、誤字の訂正や、語順・言い回し等の見直しを行いました。